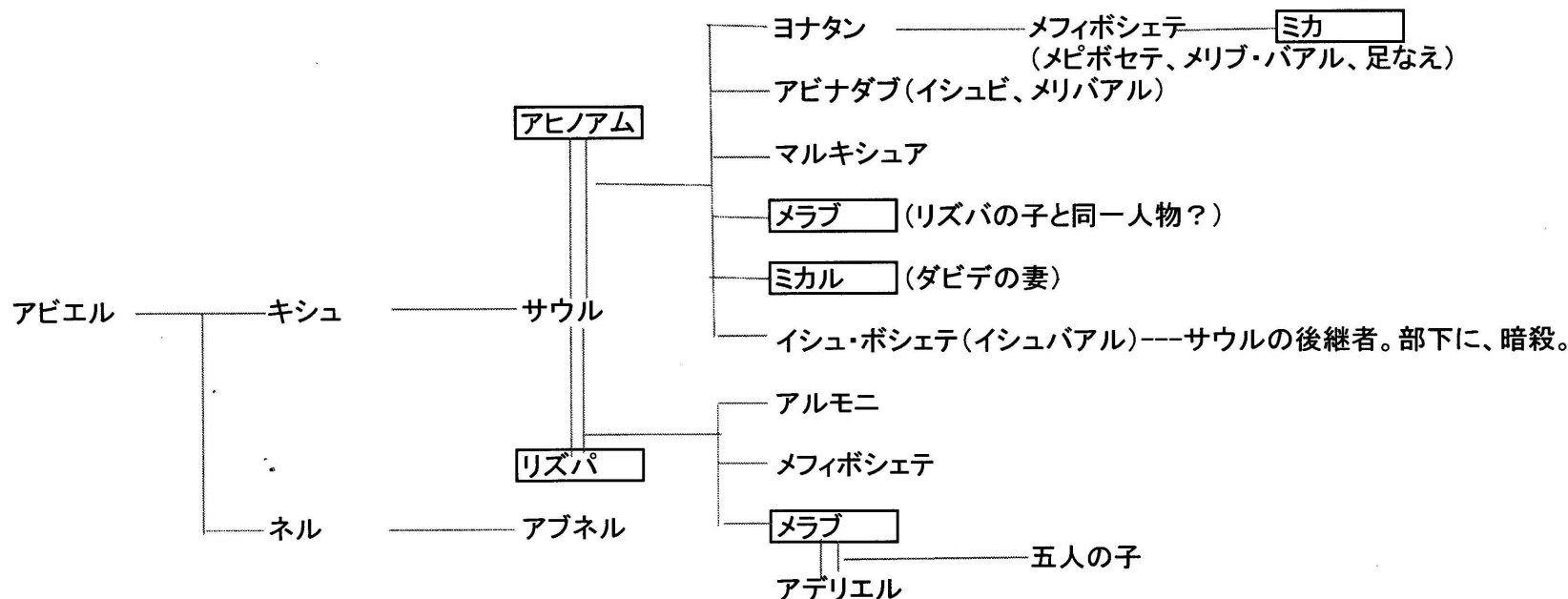


サム下

- 21.07 しかし王は、サウルの子ヨナタンの子メフィボシエテを惜しんだ。それは、ダビデとサウルの子ヨナタンとの間で主に誓った誓いのためであった。
- 21.08 王は、アヤの娘リツパがサウルに産んだふたりの子アルモニとメフィボシエテ、それに、サウルの子メラブがメホラ人バルジライの子アデリエルに産んだ五人の子を取って、
- 21.09 彼らをギブオン人の手に渡した。それで彼らは、この者たちを山の上で主の前に、さらし者にした。これら七人はいっしょに殺された。彼らは、刈り入れ時の初め、大麦の刈り入れの始まったころ、死刑に処せられた。



サム上
サム下

- 31.06 こうしてその日、サウルと彼の三人の息子、道具持ち、それにサウルの子ヨナタンはみな、共に死んだ。
- 2.10 サウルの子イシュ・ボシエテは、四十歳でイスラエルの王となり、二年間、王であった。ただ、ユダの家だけはダビデに従った。
- 4.07 彼らが家に入ったとき、イシュ・ボシエテは寝室の寝床で寝ていたので、彼らは彼を突き殺して首をはね、その首を持って、一晩中、アラバへの道歩いた。
- 4.08 彼らはイシュ・ボシエテの首をヘブロンにダビデのもとに持って来て、王に言った。「ご覧ください。これは、あなたのいのちをねらっていたあなたの敵、サウルの子イシュ・ボシエテの首です。主は、きょう、わが主、王のために、サウルとその子孫に復讐されたのです。」
- 4.12 ダビデが命じたので、若者たちは彼らを殺し、手、足を切り離した。そして、ヘブロンに池のほとりで木につるした。そこに葬った。しかし、イシュ・ボシエテの首は、ヘブロンにあるアブネルの墓に持って行き、

サム下

- 21.10 アヤの娘リツパは、荒布を脱いで、それを岩の上に敷いてすわり、刈り入れの始まりから雨が天から彼らの上へ降るときまで、昼には空の鳥が、夜には野の獣が死体に近寄らないようにした。